

萌黄 (もえぎ) 通信



みなさんお元気ですか？ 11月に入りました。寒さを肌で実感するような日が増えてきましたね。最近、山梨では初霜を観測しましたよ。

地元では、道路のいたるところで、「凍結注意」の表示板を見るようになりました。今年は、厳冬かもしれないので早めのタイヤ交換が必要かなと思っている堀内貢次です。

『地元の山車巡行祭に参加しました』

私の住んでいる富士川町は、隣町（鰍沢町）と合併して5年になります。その町制5周年を記念して、有形文化財に指定している鰍沢の山車の4台が町のメイン通りを巡行す



るので、私の地域からも、昔からある山車を出して巡行し先導することになりました。私は現在、地元の育成会担当なので当然この行事に駆り出され、私の地域でも伝統的にある山車の先導担当になりました。とはいっても有形文化財に指定されている山車とは比べようもないくらい小さいものなので、その引き立て役のような存在でしたが、地域の子供たちはとても楽しんでくれたようで楽しく充実した一日でした。

「エントランス大理石のダイヤモンド研磨」

今月の石材メンテナンスは、マンションの大規模修繕の一環で、日常メンテナンス部分が特別清掃という名目になり、大理石のダイヤモンド研磨を行う旨で弊社に依頼がきました。ここは前回、研磨施工をしてから10年以上経つので、歩行の動線部分は、特に摩耗が激しく反射がほとんどなくなっています。再生するためには、ダイヤモンドによる研磨施工が必要になります。今回は、特に深いキズは見当たらないので、#1000（一部#800）からの立ち上げになります。ポリッシャーにウエイトを乗せ、大理石へダイヤモンドが十分に当たるようにして下地をしっかりと作っていきます。

#1000の仕上がり（写真3）でもライトの輪郭がうっすらですがしっかりと出てきます。そこから#2000→#3000と立ち上げ、最終的に#8000まで持っていくます。



1. ライトの反射が鈍いです。



2. 研磨中



3. 1000 仕上げ。ライトの輪郭がまだ



4. #8000 最終仕上げ、鮮明に反射しました

大理石（シベック）のシールシミ抜き

あるマンションの壁が大理石なのですが、経年によって汚染され、石の中へシミが入り込んで濡れ色になっています。剥離剤やシミ抜き剤、スチーム等を併用しながらシミ抜きを繰り返して仕上げしていきます。



（編集後記）自宅の近くにある老舗うどん屋さんが、後継がおらず、11月で閉店になります。90年も続いた店なのに残念です。私の地元も確実に高齢化が進んでいます。

萌黄通信 毎月1回発行

発行編集責任者 (株) ケイ・アンド・エス 堀内貢次 (ほりうちこうじ)

(東京出張所) 東京都港区浜松町1-1-10 5F

(電話) 03-3431-1293 (Fax) 03-3431-7198

<http://www.e-kands.jp>

(メール) info@e-kands.jp